

令和2年度 6年コース6学年 4月19日(日)までの学習課題

教科	科目	Sクラス		Hクラス	
		理系	文系	理系	文系
国語	現代文	「文学の未来」(P.222～)について。 ①教科書に段落番号を振る。 ②音読を1日1回する。 ③不明な単語をリストアップして語意をノートに書く。		『『である』ことと『する』こと』を読んで学習課題ノートをやること。	
	古典	今週は特になし。			
	世界史B	チェックリストP76～77			
	日本史B	ウイニングコンパスP106～109			
	地理B	パワーアップP129～132(教科書P232～241参照) 春課題を提出していない場合は、これより前のページもやっておくこと。			
	倫理	倫理ノート P8～9		倫理ノート P8～9	
	政治経済	政治経済単語プリント 経済分野①1～65		政治・経済ノート P69大問3～70	
数学	数学	①入試で数Ⅲを使う生徒 ・NEWACTION 数Ⅲ 【数列の極限】:例題92, 94, 99, 101, 104, 108, 120, 121 【複素数平面】:例題43, 45, 46, 48, 49, 50, 51 次回は、関数の極限と複素数平面です。 ②入試で数Ⅲを使わない生徒 ・NEWACTION 数ⅠA, 数ⅡBから、数Ⅲの課題と同じ数(15題)の問題を選んで解く。ただし、同一単元内の15題を選ぶこと。 ③数学演習からの課題 Classiで配信される問題	○ニュースタンダード P90, P92, P94の CHECK&CHECK ○「微分法」の基本公式、性質を幅広く確認 ○Classiで配信される問題	○ニューステージ P4～13の CHECK, STEPのみ (ノートを用意すること)	○ニューステージ P8 13～15 P10 19・20 P12 25・26 P16 34・35 P18 39・40 提出用のノートを作って、解いてください。 答え合わせ・やり直しもしてくださいね。
理科	化学(理系)	<p>● 宿題範囲 : 問題集(NEW GLOBAL化学)のうち、大学入試頻出問題であるP.6の例題2, P.14の例題3, P.15の例題5の3問を解く。</p> <p>● 提出方法 : 新品でなくてもよいので演習ノートをつくり(授業ノートやノートをちぎった紙は認めないが、今後使わない途中まで使ったノートやバインダーで管理するならルーズリーフは認める)、それに解いたものを提出。 ※ 今後、定期試験ごとの提出物は、この演習ノートとなり、それ以外は認めないので、この機会に必ず演習ノートを用意すること。</p> <p>● 演習ノートの使い方(つくり方) : 計算が必要な問題などは、答えを導き出す過程も記入すること。その後、問題下の解説を見ながら答え合わせをする。または、Classiに解説動画をアップロードする予定なので、それを見ながら答え合わせをする。 ※ 今後、Classiを利用して問題演習や解説を行う予定なので、この期間でClassiに慣れておくようにしよう。</p>			
	物理	教科書p187～p207を熟読し、要点をノートにまとめる。	教科書p187～p207を熟読し、要点をノートにまとめる。		
	生物(理系)	リードα生物基礎+生物 生物 第1章 リードC すべて	リードα生物基礎+生物 生物 第1章 リードC すべて		
	理科演習化学	チェック&演習化学基礎 P.4～8 (問題集にやってもノートにやってもどちらでもよい)		チェック&演習化学基礎 P.4～8 (問題集にやってもノートにやってもどちらでもよい)	
	理科演習生物				
英語	コミュ英	MY WAY WORK BOOK ADVANCED P4 Reading Skill 1. Greeting in the World ~ P47 入試にチャレンジ2 をワークブックにやる。 締め切り:最初の授業 ※解答と日本語訳は後日Classi にて配信予定。答え合わせをしておくこと。			
	英表	英文法・語法問題1000 P4～P7 1. 動詞の語法(1) P8～P12 2. 動詞の語法(2) ※スタディ・ポイントをしっかり読み、理解した後、解答・解答の根拠をノートに書く。 P39～P44 10. 動詞を含むイディオム P57～P61 14. 形容詞・副詞を含むイディオム P71～P74 17. 名詞を含むイディオム ※ノートに解答を書き、答え合わせをする。 締め切り:最初の授業			

☆課題への取り組み方☆

- ・計画的に取り組ましましょう。
- ・自分の力で問題を解きましましょう。
- ・わからない問題がある場合は、教科書・参考書・辞書等の教材を使って調べましましょう。
- ・弱点を明確にするため、答え合わせを丁寧にましましょう。
- ・間違えた場合、すぐに答えを写すのではなく、再度その問題を解きなおして理解を深めましましょう。